■辻村楠造 陸軍の經理を担当、日露戦争後の、日本の満蒙経営の基礎づくりに決定的役割をするが、後、特異な精神論へ。

つじむらくすぞう

生麦事件・・・1862＝ 土佐国高知で生まれる。

明治維新・・・1868＝ 6歳：

廃藩置県・・・1871＝ 9歳：

明治6年政変 1873＝11歳：

・・・1880＝18歳：

明治14年政変1881＝19歳：

歩兵であったが、

帝国憲法発布1889＝27歳：

足尾鉍毒始・1891＝29歳：_創設された陸軍經理学校に入学し、

“数学の辻村”のあだ名がつくほど、頭脳明晰で、

郡司千島探検1893＝31歳：*首席で卒業して、陸軍經理部を主導するようになり、

日清戦争始・1894＝32歳：

子規句歌革新1898＝36歳：

日露戦争始・1904＝42歳：_日露戦争に向けて、積極的外債主義を唱え、開戦になると、遼東守備軍の經理部長として、満州に渡り、

日露戦争終・1905＝43歳：日本の勝利後、

滿鉄発足・・・1906＝44歳：ポーツマス条約を守ろうとする伊藤博文は、満州の積極経営を唱える参謀総長児玉源太郎を抑えて、満州の早期開放を決定、*関東総督府は平時組織に再編されて関東都督府と名が変わり、その陸軍部經理部長となる。同時に設立された南満州鉄道、領事館と合わせた三頭体制になったことから、統一的な経営が困難となるなか、満州の価値を高く見積もる現地の人たちの先頭に立って、その発展策を遂行して行く。日露戦争の前から独立をめざして日本と連携していた内モンゴルの資源にも着目して、経営に取り込もうと、日本人で初めて“満蒙”なる地域概念を提唱、追隨する人々を多く生むことになる。早くも、満蒙の基本的な地誌調査の必要性を指摘し、6カ年分の予算を獲得して、物資調査を開始、ついで、満州の拠点となる大連の大都市計画については、彩票という宝くじの発行で資金を確保、満州の玄関口として大発展して行くことになる。同時に、満州全域を活性化するには、南北に背骨のように走る南満州鉄道に支線の敷設が不可欠と、

韓国反日暴動1907＝45歳：

アソビ 創刊・1908＝46歳：

第一弾として、2万ページにおよぶ「東部蒙古誌草稿」をまとめる。近衛師団經理部長となり、帰京。以後、配下の片谷の内モンゴルでの活動を支え、

伊藤博文暗殺1909＝47歳：片谷がパリ王と「合弁事業契約」に漕ぎつける。

大逆事件判決1911＝49歳：内モンゴルでの合弁事業が実現。「満州一般誌草稿」、

明治天皇没・1912＝50歳：

大正政変・・・1913＝51歳：

經理局長として、上原勇作陸相の増師案を支持し、その実現に努力。_満州～内モンゴル線を目玉とする「満蒙五鉄道契約」を実現後、陸軍經理のトップ主計総監となるが、

第一次大戦始1914＝52歳：*予備役に編入。

21ヶ条要求・1915＝53歳：

前年の「東部蒙古誌補修草稿」は、中国に21カ条要求を突き付けて問題になったが、その一環としてに「南満東蒙条約」が結ばれたこともあって関東都督府陸軍部編「東蒙古」として、一般向けに販売された。

民本主義・・・1916＝54歳：

朝鮮総督府から東拓総裁就任の打診があるが、自らの事業たる民間会社火薬事業の嚆矢、日本セルロイドの火薬事業に専念するのを理由に固辞、以後、中国大陸との関係は持たず、

本格政党内閣1918＝56歳：

ベルリン条約・1919＝57歳：

第一大戦も終りに近づくと、精神の重要性を訴えるようになり、「大日本」を著して以降、

原敬首相暗殺1921＝59歳：

治安維持法・1925＝63歳：

片谷が実現した合弁事業は、この年設立の東亜勸業株式会社に取り込まれ、満蒙経営の一つの軸になる。

円本時代始・1926＝64歳：

この年、昭和御大礼記念事業の一環として軍人会館の建設が計画され、

金融恐慌・・・1927＝65歳：

「大聖典教育勸語」、

共産党事件・1928＝66歳：

「宗教教育武士道」、

海軍軍縮条約1930＝68歳：

ついでには、この年谷口雅春が創設した宗教団体(生長の家)の初代理事長に就任し、

満州事変・・・1931＝69歳：

コンペ当選案に基づいて設計するも、資金が不足すると、満鉄に高額の寄付をさせて、

五一五事件・1932＝70歳：

着工にこぎつけ、

帝人疑獄事件1934＝72歳：

「九段会館」を完成させ、

二二六事件・1936＝74歳：

「皇国大日本」、

日中戦争始・1937＝75歳：

総動員+健保・1938＝76歳：

*「ユダヤ問題論集」と、次々発表するが、以後は、沈黙し、

日米開戦・・・1941＝79歳：

創価学会検挙1943＝81歳：

マーデー事件・1952＝90歳：_没した。

北野剛「満蒙をめぐる人びと」、